

〔島根県〕

2度の経営危機を乗り越り 「日本でいちばん大切にしたい会社」へ

神田 恭秀（産学官連携・産業クラスター担当）

kanda-yasuhide@meti.go.jp

TEL 082-224-5670



「アナヒータストーンズ」・・・ご存じでしょうか。女性の方がよくご存じかもしれません。アナヒータはペルシャ語で「月の女神」の意味があるそうですが、島根県松江市に本社を置く「株式会社めのや」が営まれているパワーストーン・天然石のオリジナルアクセサリーショップです。今では、全国で100を超える店舗を展開されています。

ただ、全国展開に至るまでの道のりは平坦ではなかったようです。創業は明治34年玉造温泉街にめのや細工の店を開かれたのが始まりです。その後、玉造温泉でめのや細工を観光客に販売する事業を営まれていました。ただ、1970年代観光客が大型バスで移動するようになり、お土産も大型バス対応のロードサイド店で購入するモデルが主流となったことで、お店は経営危機に瀕したそうです。



勾玉

（アナヒータストーンズホームページより）

そこで新宮正朗会長（当時専務）は、「潰れるのが1年先か5年先かの違いだ」と周囲の反対を押し切り、1985年土産販売や勾玉づくりの体験ができるロードサイド店「いずもまがたまの里 伝承館」を開館されました。



伝承館



勾玉づくり体験もできます

伝承館は、オープン当初はご苦労も多かったようですが、徐々に人気を得て順調だったとのこと。ただ、1990年代になると観光客そのものが減少する時代となりました。

その2度目の危機の中、半貴石のアクセサリ販売という新しいビジネスを思いつかれ、「誕生石占い」「あなただけのアクセサリをその場で創るサービス」などのビジネスモデルを提案することにより、現在の多店舗展開を実現されました。この新事業への取組が評価され中国地域ニュービジネス大賞特別賞（中国地域ニュービジネス協議会主催）にも選ばれています。

■ お店の情報はこちらから

<http://www.anahitastones.com/>

■ 中国地域ニュービジネス大賞

<http://www.cnbc.or.jp/02activity/01award/02list.html#a16>

一方、多店舗展開にあたっては、販売店員の離職率が高いという状況があったそうです。そこで新宮会長（当時社長）は経営理念を従業員に伝えることが大切だと、社長の思いを毎月発行する「社長通信」やメールで従業員へ伝えることを始められました。目指すのは「従業員からこの会社があつて良かったと言われるお店」とのことです。

このような社員を大切にしておく考えや「めのう文化」を守る取組により「第2回日本でいちばん大切にしたい会社」（日刊工業新聞）にも選ばれています。現在は、ご子息である社長の元、韓国など海外展開も図っておられます。

■ 日本でいちばん大切にしたい会社

<http://www.taisetu-taisyō.com/jusyou2.html>

5月は、いよいよ出雲大社「平成の大遷宮」が本殿遷座を迎えます。きっと、いつも以上に石にもパワーが宿っているのではないのでしょうか。アナヒータストーンズや伝承館を一度訪れてみられてはいかがでしょうか。